

豊かな心と生きる力をもち、自ら考え、やりぬく小津の子 小津小学校学校だより

令和7年

3月3日

3月

おづっこ



おもいを伝え合う子 つづける子 つよくしなやかな子 ころあたたかな子

春に向かって大きく羽ばたこう！

日中の日差しに少しずつ明るさが増し、校庭の桜の芽のふくらみを見ると、春の到来がもう間近となってきていることを感じます。この3学期は、開始早々インフルエンザやお腹が痛くなる風邪での欠席児童が多く心配しましたが、大流行には至りませんでした。2月25日から6年生を送る週間が始まり、下級生からの感謝の気持ちを受け取り、上級生がお返しをする、そんなほのぼのとした心温かなやり取りに感動する姿が、校内のあちこちで見られています。3月4日には5年生の企画による「6年生を送る会」を開催する予定です。各学年とも、6年生に楽しんでもらえるようにと、一生懸命に知恵を絞り相談しながら準備をしています。きっととびきり素敵な会になることでしょう。

先日、本校6年生児童が、「守山市子ども善行表彰」を受けました。児童がお母さんと買い物に出掛けた際の出来事です。高齢の男性が近づいてきて、「私のことを知りませんか？」と声をかけられました。学校の「認知症サポーター養成講座」で学んだことを思い出し、「この男性は認知症で、場所が分からなくなっているのではないか。」と気づきました。住所が分かったので家へ送って行くと、男性の家族から「（男性が）いなくなったので娘が探していたところです。ありがとうございます。」と感謝された善行を讃えられての表彰です。素晴らしい判断力と行動力です。



「子ども善行表彰」表彰式
辻本長一守山市教育長と

本人に話を聞くと、「男性が困っていたので何とかしなくてはと思い、どうするのがよいか考え自然に行動できた。」ということです。まさに、本校の教育目標である「**自ら考え、やりぬく小津の子**」を具現化してくれた出来事でした。



卒業プロジェクトに取り組む6年生

今年も新たに70名の卒業生が巣立ちます。思い返せば、1年生の2月、突然コロナ禍による休校に見舞われました。ようやく鎮静化した5年生・6年生で学校行事が従来の形に戻りました。2・3・4年生で経験した当たり前のことができない生活の中で学んだ、できることに感謝し笑顔で精一杯取り組んだ経験を忘れず、夢に向かって大きく羽ばたいてくれることを願っています。

この1年間、保護者の皆様をはじめ、地域の皆様、小津学区関係団体の皆様には本校の教育推進に温かいご支援をいただきありがとうございました。

新年度も子どもたち一人ひとりが安心して学ぶことができ、笑顔があふれる小津小学校をめざしていきます。これからも小津小学校をどうぞよろしくお願いいたします。

